

<b>発明の名称</b>	<b>水耕栽培方法、葉菜類、培養液、及び培養液濃縮組成物 ～亜鉛高含有量葉菜の栽培方法～</b>
<b>発明の概要</b>	<p>栽培環境を変化させることで生育障害を出すことなく、6.6～72.0倍の亜鉛が含有された葉菜類を栽培することが出来る。</p> <p>交雑育種や遺伝子組換えなどの大がかりな変化ではなく、栽培環境を変化させるだけなので、コスト面や環境面からも有益であり、現在の栽培環境をそのまま利用することができる。</p>
<b>対象業種</b>	植物工場、食品関連企業
<b>実用化が見込まれる分野</b>	農業、食品関連
<b>出願番号</b>	特願2015-189881
<b>出願日</b>	2015年9月28日
<b>公開番号</b>	未公開
<b>発明者</b>	小川 敦史、工藤 育美
<b>出願人</b>	秋田県立大学



お問い合わせはこちらまでどうぞ地域連携・研究推進センター

秋田市下新城中野字街道端西241-485 TEL:018-872-1557 FAX:018-872-1673

